



TITLE:

経済資料協議会会員業績一覧 (対象
期間: 2005年1月-2008年12月)

AUTHOR(S):

CITATION:

経済資料協議会会員業績一覧 (対象期間: 2005年1月-2008年12月). 経済
資料研究 2008, 38: 133-136

ISSUE DATE:

2008-10-25

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/85097>

RIGHT:

経済資料協議会会員業績一覧

(対象期間：2005 年 1 月～2008 年 12 月)

特別会員

- 金沢 幾子 「『福田徳三』追加情報」『近現代日本人物史料情報辞典』2, 吉川弘文館, 2005 年.
- 金沢 幾子 「『福田徳三』追加情報」『近現代日本人物史料情報辞典』3, 吉川弘文館, 2007 年.
- 松田 芳郎 「世界の常識は日本の非常識・日本の常識は世界の非常識：統計法の改正の必要性」『統計』2005 年 1 月.
- 辻井 博・松田 芳郎・浅見 淳之共編著 『中国農家における公正と効率』多賀出版, 2005 年 3 月.
- 松田 芳郎 「究極の『報告者負担軽減』方策実現の前に立ち止って考える：『統計法』改正のあり方」『統計情報』2005 年 2 月.
- 松田 芳郎 「事業所・企業統合データによる縦断分析（日本統計学会賞受賞記念講演を改稿）」『日本統計学会誌』34 巻 2 号, 2005 年 3 月.
- 松田 芳郎 「労働調査とプライバシー」『日本労働研究雑誌』543 号, 2005 年 10 月.
- 松田 芳郎 “Rural Farm Surveys and Agricultural Changes in China: a review”, *Restoration of Farm Survey of Rural China in 1930's and Comparison with the Present Sampling Survey of Chinese Farms: Final Report*, ed. by Sumio Kuribayashi, 2007.
- 永山 貞則・松田 芳郎他『新版 日本長期統計総覧』全 5 巻, 日本統計協会, 2007 年.
- 松田 芳郎 「統計法の改革で実現することが切望されること」(財)統計情報研究開発センター『Estrela』2007 年 1 月
- 松田 芳郎 「統計法の改正と新統計委員会に対する期待」『統計』2007 年 2 月.
- 松田 芳郎 「統計データ解析における国際協力の新しい試み」(財)

- 統計情報研究開発センター『Estrela』No. 157, 2007.
- 松田 芳郎 「1930年代の中国の土地利用調査の復元に関する研究 (1): 南京農業大学に保存されている中間集計表によるミクロデータの復元」『東京国際大学論叢 経済学部編』37号, 2007年9月.
- 松田 芳郎 「産業統計体系整備のための統計調査単位の再検討」『統計』2008年8月.
- 松田 芳郎 「1930年代の中国の土地利用調査の復元に関する研究 (2): 特別支出 (Special Expenditure) について」『東京国際大学論叢 経済学部編』38号, 2008年9月.
- 松田 芳郎 「700冊または1400冊の雑誌の論考から何を読み取ることができるか」『統計』2008年9月.
- 松本 脩作 『回想の日印関係 三角佐一郎談話録』(共著) (東京外国語大学大学院 21世紀COEプログラム), 2008年1月.
- 源 昌久 「兵要地誌類関係資料の解題」渡辺正氏所蔵資料集編集委員会編『終戦前後の参謀本部と陸地測量部—渡辺正氏所蔵資料集—』2005年3月.
- 源 昌久 「英国海軍情報部作成の Geographical Handbook Series に冠する一考察—China Proper を中心に—」『空間・社会・地理思想』11号, 2007年12月.
- 庄谷 邦幸 『産業集積の構造と地域振興政策』明石書店, 2007年2月.
- 庄谷 邦幸 「上海档案館再訪記」『大阪市公文書館研究紀要』19号, 2007年3月.
- 庄谷 邦幸 「長浜市の産業近代化と産業遺産の活用」『近畿の産業遺産』No.2, 2007年12月.
- 庄谷 邦幸 「現代の記録を未来に伝える—国際公文書館東アジア地域支部総会から学ぶ—」『環太平洋圏国際研究』(桃山学院大学) 9号, 2008年3月.
- 庄谷 邦幸 「アーカイブ国際交流の経験から」『大阪市立公文書館研究紀要』20号, 2008年3月.

- 庄谷 邦幸 「住友銅吹所跡保存運動の記録」『人間科学』（桃山学院大学）, 2008 年 8 月出版予定 .
- 高橋菜奈子 「NACSIS-CAT における韓国・朝鮮人著者名典拠の標目記述とその課題：韓・日出版物にみる著者名表記の字体と著者略歴の分析を通して」日本図書館情報学会誌 51(1), 2005 年 3 月 .
- 高橋菜奈子 「NACSIS-CAT における韓国・朝鮮人著者名典拠の同定」大学図書館研究 No.80, 2007 年 8 月 .
- 豊田 裕昭 ; 高橋菜奈子 「一橋大学附属図書館の蔵書管理と其の利用—大学図書館ランキングにみるコア・コンピタンス—」大学図書館研究 No.80, 2007 年 8 月 .
- TAKAHASHI, Nanako "Analysis of Korean Author Names in Publications: for considering headings for persons in NACSIS-CAT", Scholarly information on East Asia in the 21st century : paper presented at the IFLA WLIC Satellite Meeting, Seoul, Korea, August 18, 2006 edited by Philip A. Melzer and Hyokyoung Yi, *Korean Studies Information*, 2007.

一般会員

- 二階 宏之 『朝鮮半島における南北経済協力：韓国からの視点』（文献解題 41）日本貿易振興機構アジア経済研究所, 2008 年 3 月 .
- 櫻田 忠衛 「ドキュメンタリストの役割と課題」『経済資料研究』No.37, 2007 年 .
- 櫻田 忠衛 「洛北染物労働組合争議と河上肇」『調査と研究』第 35 号, 2007 年 .
- 櫻田 忠衛 「河上肇と左京の労働運動」『京都大学新聞』第 2402 号, 2007 年 6 月 1 日 .
- 白井 亨 「学習素材の提供」関口礼子編『情報化社会の生涯学習』学文社, 2005 年 .
- 白井 亨 「図書館における著作権の問題について—公共図書館

- を中心として一』『経済資料研究』第37号, 2007年3月.
- 高橋 宗生 『変動するインドネシア (2001-2005): 政治・経済・社会関連インドネシア語雑誌記事・論文解題』(文献解題 40) 日本貿易振興機構アジア経済研究所, 2006年11月.
- 若杉 隆志 「デジタル・アーカイブの経験から—法政大学大原社会問題研究所の場合—」『大学図書館研究』No.75, 2005年12月.
- 若杉 隆志 「戦前期写真約千点をデータベースで公開」『法政大学大原社会問題研究所雑誌』No.580, 2007年3月.
- 若杉 隆志 「法政大学大原社会問題研究所における資料保存—小規模研究所ライブラリーの取り組みから—」『現代の図書館』46巻2号, 2008年7月.